

学・協会論文誌等

- 1) 小宮山涼一,藤井康正「地域細分化型世界エネルギーモデルによる電気自動車の省エネ性能,環境性能に関する分析」電気学会論文誌 B (電力・エネルギー部門誌),Vol.132,No.1,pp.34-46 (2012)
- 2) 山岸 良雄, 藤井 康正,「気象庁地域気象観測システムデータを用いた任意地点日射量推定手法の精度検証」,電気学会論文誌. B, (電力・エネルギー部門誌), Vol. 132, No. 1, pp.65-70 (2012)
- 3) 小宮山涼一,惣福脇学,松尾雄司「2035 年までの中東諸国のエネルギー需給予測分析」,エネルギー・資源(エネルギー・資源学会誌), Vol.33, No.2,pp.44-53 (2012)
- 4) 小宮山涼一,鈴木研悟,永富悠,松尾雄司,末広茂「統合型エネルギー経済モデルによる 2050 年までの日本のエネルギー需給の分析」エネルギー・資源(エネルギー・資源学会誌), Vol.33,No.2,pp.34-43 (2012)
- 5) 山岸 良雄, 佐治 憲介, 青木 功, 谷川 亮一, 藤井 康正,「気象庁数値気象予報データを用いた日射量予測手法の精度検証」,電気学会論文誌. B, (電力・エネルギー部門誌), Vol. 132 No. 4, pp.334-340 (2012)
- 6) 小宮山涼一,藤井康正「太陽光発電, 風力発電の大量導入と日本の最適電源構成に関する分析」電気学会論文誌 B (電力・エネルギー部門誌), Vol. 132, No. 7, pp.639-647 (2012)
- 7) 小宮山涼一, 藤井康正「原子力の長期シナリオと太陽光・風力発電の大量導入を考慮に入れた日本の長期エネルギー需給に関する分析」電気学会論文誌 B (電力・エネルギー部門誌), Vol. 132, No. 9, pp.780-792 (2012)
- 8) Yuji Matsuo, Kengo Suzuki, Yu Nagatomi, Shigeru Suehiro and Ryoichi Komiyama. "Estimating Global CO2 Emission Constraints and Energy Supply/Demand Structure in 2050 with MARKAL model" IEEJ Energy Journal, Vol.7, No.4, pp.16-34 (2012)
- 9) Ryoichi Komiyama, Saeko Shibata, Yosuke Nakamura and Yasumasa Fujii. "Analysis of possible introduction of PV systems considering output power fluctuations and battery technology, employing an optimal power generation mix model" Electrical Engineering in Japan, Volume 182, Issue 2, pp.9-19 (2012)
- 10) 山岸 良雄, 藤井 康正「再生可能エネルギーの変動特性を考慮した最適電源構成の検討」電気学会論文誌. B, (電力・エネルギー部門誌), Vol. 132 No. 10 pp.834-843 (2012)
- 11) Saurabh Sharma, Ryoichi Komiyama and Yasumasa Fujii, "Assessment of Sustainable Energy Strategy with Long Term Global Energy Model Incorporating Nuclear Fuel Cycle", Journal of Environmental Science and Engineering B, Volume 1, Number 11 pp.1215-1232 (2012)

総説・解説論文等

- 1) 小宮山涼一: エネルギー需給の現状と展望, 水素エネルギーシステム, Vol.37, No.1, pp.50-51 (2012)
- 2) Tatsuo Masuda, Ryoichi Komiyama : Positioning of Nuclear in the Japanese Energy Mix, Note de l'Ifri, Octobre 2012
(http://www.ifri.org/?page=detail-contribution&id=7303&id_provenance=97)
- 3) 藤井康正、「エネルギーの役割とは」, エネルギーレビュー, Vol.32, No.12, pp.7-11 (2012)

国際・国内学会講演論文集等

- 1) 大槻貴司, 小宮山涼一, 藤井康正「太陽光大量導入時のバッテリー必要導入量に関する近似的評価手法の考察」, 第 28 回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文集, pp.221-224, エネルギー資源学会, 東京 (2012) .

- 2) 岡健太, 小宮山涼一, 藤井康正「エネルギー物質循環モデル構築に向けた産業連関表に基づく準備的検討」, 第 28 回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文集, pp.369-372, エネルギー資源学会, 東京 (2012) .
- 3) 柴田紗英子, 小宮山涼一, 藤井康正「太陽光・風力発電の大量導入と電力融通を考慮した最適電源構成の評価」, 第 28 回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文集, pp.503-506, エネルギー資源学会, 東京 (2012) .
- 4) 奥野峻也, 小宮山涼一, 藤井康正「GTAP データベースを利用したボトムアップ型応用一般均衡モデルの開発」, 第 28 回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文集, pp.561-564, エネルギー資源学会, 東京 (2012) .
- 5) 川上恭章, 小宮山涼一, 藤井康正「石油・天然ガス備蓄の活用によるエネルギー安全保障戦略の経済合理性に関する分析」, 第 28 回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文集, pp.565-568 エネルギー資源学会, 東京 (2012) .
- 6) 杉山達彦, 藤井康正, 小宮山涼一「最適電源構成モデルによる電力供給計画の検討」, 平成 24 年電気学会全国大会講演論文集(第 6 分冊), pp.77-78, 広島 (2012) .
- 7) 柴田紗英子, 小宮山涼一, 藤井康正「太陽光・風力発電の大量導入と全国の電力融通を考慮した最適電源構成の評価」, 平成 24 年電気学会全国大会講演論文集(第 6 分冊), pp.81-82, 広島 (2012) .
- 8) 川上恭章, 小宮山涼一, 藤井康正「石油・天然ガス備蓄を利用したエネルギー安全保障戦略の経済合理性の評価手法の構築」, 平成 24 年電気学会全国大会講演論文集(第 6 分冊), pp.87-88, 広島 (2012) .
- 9) 岡健太, 藤井康正, 小宮山涼一「設備投資を考慮したエネルギー物質循環モデル構築のための基礎的研究」, 平成 24 年電気学会全国大会講演論文集(第 6 分冊), pp.89-90, 広島 (2012) .
- 10) 奥野峻也, 小宮山涼一, 藤井康正「ボトムアップ型多部門経済モデルを用いた原子力発電低減による日本経済への影響評価」, 平成 24 年電気学会全国大会講演論文集(第 6 分冊), pp.99-100, 広島 (2012) .
- 11) 大槻貴司, 小宮山涼一, 藤井康正「太陽光大量導入時におけるバッテリー必要容量評価の近似的手法の検討」, 平成 24 年電気学会全国大会講演論文集(第 6 分冊), pp.245-246, 広島 (2012) .
- 12) 杉山達彦, 小宮山涼一, 藤井康正「太陽光発電と送電ネットワークを考慮した最適電源構成モデルによる将来的系統運用方法の検討」, 第 31 回エネルギー・資源学会研究発表会講演論文集, pp.151-154, 大阪 (2012) .
- 13) 小宮山涼一, 柴田紗英子, 藤井康正「太陽光・風力発電の出力変動と全国の電力融通を考慮した日本の最適電源構成に関する分析」, 第 31 回エネルギー・資源学会研究発表会講演論文集, pp.159-162, 大阪 (2012) .
- 14) 川上恭章, 小宮山涼一, 藤井康正「確率計画による石油・天然ガス備蓄を利用したエネルギー安全保障向上施策の経済合理性の評価」, 第 31 回エネルギー・資源学会研究発表会講演論文集, pp.231-234, 大阪 (2012) .
- 15) 岡健太, 山本久智, 小宮山涼一, 藤井康正「エネルギー政策評価のためのボトムアップ型動学的多部門経済モデルの開発」, 第 31 回エネルギー・資源学会研究発表会講演論文集, pp.277-280, 大阪 (2012) .
- 16) 小宮山涼一, 藤井康正「日本の電源構成の展望と電気自動車, プラグインハイブリッド自動車の省エネ, CO₂ 削減効果に関する分析」, 平成 24 年電力・エネルギー部門大会講演論文集, pp.22/17-22/24, 北海道 (2012) .
- 17) 岡健太, 小宮山涼一, 藤井康正「ボトムアップ型動学的多部門経済モデルの構築に向けたエネルギー新技術の経済への影響評価手法に関する研究」, 平成 24 年電力・エネルギー部門大会講演論文集, pp.31/3-31/4, 北海道 (2012) .
- 18) 川上恭章, 小宮山涼一, 藤井康正「確率動的計画法を用いた LNG 備蓄の経済合理性に関する考察」, 平成 24 年電力・エネルギー部門大会講演論文集, pp.33/17-33/18, 北海道 (2012) .
- 19) Shunya Okuno, Yasumasa Fujii and Ryoichi Komiyama: Development of a Bottom-up based CGE Model and Evaluation of Energy Policy, 2012 3rd IAEE Asian Conference, SESSION 1 Energy-Economy Modelling, Feb. 20, 2012, University of Kyoto, Japan(2012)
- 20) Saeko Shibata, Ryoichi Komiyama, Yasumasa Fujii: Evaluation of the Optimal Power Generation Mix with Regional Power Interchange considering Output Fluctuation of

- Photovoltaic System and Wind Power Generation, 2012 3rd IAEE Asian Conference, SESSION 4 Power Plant Portfolio, Feb. 20, 2012, University of Kyoto, Japan(2012)
- 21) Ryoichi Komiyama, Saeko Shibata and Yasumasa Fujii: Simulation Analysis for Massive Deployment of Variable Renewables employing an Optimal Power Generation Mix Model” 35th IAEE International Conference, Concurrent Sessions (4) Renewables and Energy, Perth, Australia, June 26 2012(2012)
 - 22) Yuji Matsuo, Kengo Suzuki, Yu Nagatomi, Shigeru Suehiro, Ryoichi Komiyama: Estimating Global CO2 Emission Constraints and Energy Supply/Demand Structure in 2050 with MARKAL Model, Website in Institute of Energy Economics Japan(IEEJ) (<http://eneken.ieej.or.jp/data/4630.pdf>), November (2012)

著書、訳書、教科書、ソフトウェア

- 1) 小宮山涼一著「化石・原子力エネルギー（今こそ考えよう！エネルギーの危機）」，文溪堂（2012）
- 2) （分担執筆）小宮山涼一「日本の将来を変えるグリーン・イノベーション」第 5 章，中央経済社（2012）
- 3) （分担執筆）藤井康正「震災後の工学は何をめざすのか」第 2 章取りまとめ担当，pp.7-15 執筆，東京大学大学院工学系研究科編，内田老鶴圃

一般雑誌・新聞・マスコミ

- 1) 沖縄タイムス「バイオ燃料導入 沖縄の事例紹介 普及推進セミナー」2012 年 2 月 26 日（日）（2012）
- 2) 日本経済新聞「天然ガスエネへの期待と落とし穴 東大の小宮山氏に聞く」2012 年 5 月 9 日
- 3) 日本経済新聞「原子力発電の安全確保と信頼回復に向けて」2012 年 6 月 9 日(2012)
- 4) 東京新聞「原発是非で菅氏ら論戦 公開討論会」2012 年 6 月 24 日(2012)
- 5) 中日新聞「リスク避け原発ゼロを 安定した代替エネない 菅氏ら公開討論会 東京」2012 年 6 月 24 日(2012)
- 6) 琉球新報「バイオ燃料普及へ 専門家や行政が報告」2012 年 9 月 6 日(2012)
- 7) 琉球朝日放送 ステーション Q「バイオ燃料セミナー あらたな燃料の普及めざす」2012 年 9 月 6 日（2012）

その他

- 1) 小宮山涼一：世界における自動車用燃料としてのバイオエタノールの利用状況と我が国の現状，第 3 回 沖縄バイオ燃料セミナー、サムシング・フォー西崎、糸満市、沖縄、2012 年 2 月 23 日（木）（2012）
- 2) 小宮山涼一：日本の電源構成と経済に関する分析，地球温暖化問題の国内外制度に関する検討委員会第 3 回勉強会、東京，2012 年 2 月 29 日(水)(2012)
- 3) 小宮山涼一：エネルギー需給の現状と長期展望，水素エネルギー協会・水素エネルギー利用開発研究会合同講演会、第 137 回水素エネルギー協会定例研究会、2012 年 3 月 9 日（金）、広島市西区民文化センター、広島(2012)
- 4) Yasumasa Fujii, Ryoichi Komiyama: Asian Energy Planning 2 -Energy Outlook-, IAEA Nuclear Energy Management School in Japan, 12 June 2012 (2012)
- 5) 小宮山涼一：みんなで決めよう「原発」国民投票 公開討論会（登壇）、水道橋 YMCA アジア青少年センター、2012 年 6 月 23 日(土)(2012)
- 6) 山地憲治, 小宮山涼一：日経・CSIS バーチャル・シンクタンク提言-原子力発電に関する 4 つの政策ビジョン-について、第 2 8 回原子力委員会定例会議、中央合同庁舎 4 号館 1 階 1 2 3 会議室、平成 24 年 7 月 3 日（火）（2012）

- 7) 小宮山涼一: 日本のエネルギー需給の現状と見通し、国内温暖化ワークショップ「地球温暖化抑制のための世界共有ビジョンの実現にむけて」キヤノングローバル戦略研究所、2012年7月24日(火)(2012)
- 8) 小宮山涼一: 第35回IAEE国際大会参加の所感, 第35回IAEE年次大会報告会、日本エネルギー経済研究所、平成24年7月25日(水)(2012)
- 9) 小宮山涼一: 基調講演: バイオエタノールの内外情勢とエネルギー政策での位置付け, 環境省事業 平成24年度第1回沖縄バイオ燃料セミナーin 宜野湾市、平成24年9月5日(水)(2012)
- 10) Ryoichi Komiyama: The Global Forecast of Energy Demand toward Low Carbon Society, Tokyo Lights Africa 2012, October 5 2012, Seihoku Gallery, University of Tokyo (2012)
- 11) 藤井康正: 日本溶接協会, 原子力構造機器の材料、設計、施工、検査、維持に関する講習会, 特別講演「CO₂排出削減策とエネルギー長期展望」、平成24年11月28日(2012)
- 12) 小宮山涼一: 太陽光発電・風力大量連系時の電源ベストミックス, 再生可能エネルギー協議会「エネルギーグリッド・パワエレ&統合概念」セミナー、幕張国際会議場 2012年12月7日(金)(2012)